

# 安全・安心な物流サービスを提供し、 地域社会に貢献する。



## 山口県貨物倉庫株式会社

もりふじ たけふみ  
代表取締役 **森藤 武文**

山口商工会議所 1号議員

昭和45年生まれ。宇部市出身。宇部商業高校卒業後、岡山の大学に進学。大学卒業後、ローヤル（現イエローハット）に就職し、4年半営業として勤務。その後、山口県貨物倉庫株式会社に入社。34歳の時に代表取締役役に就任し、現在に至る。趣味は、週に一度程度行くゴルフ。腕前は「おつきあいができる程度です。」とのこと。

### [企業概要]

住 所：山口市江崎 2229-3  
T E L：083-989-5475  
U R L：http://www.yama-ken.biz/  
設 立：昭和38年  
社 員 数：310人

### まず、森藤社長の生い立ちを教えてください。

宇部市で生まれ育ち、現在も宇部に住んでいます。大学時代と卒業後の数年間を除けば、ずっと宇部に住んでいますね。

中学時代に野球を始めて、宇部商業高校に進学しました。当時、宇部商は強かった時代で、私も甲子園に出場しました。ポジションはピッチャーで、試合に出場することはできませんでしたが、ベンチ入りして、良い経験をさせていただきました。

高校卒業後は、父からの強いすすめもあり、大学に進学しました。大学でも、毎日野球をしていた記憶しかありません(笑)。



本社社屋

大学卒業後は、現在のイエローハットの前身であるローヤルという会社に就職しました。父から、鍵山秀三郎氏の経営理念を経験して、学んでこい！と言われ、東京や千葉で、営業職として勤務しました。

### 帰山を決めたきっかけは？

当初ローヤルに入社が決まったときは、「10年は頑張ろう」と思っていましたし、父からも「10年間は勤務しろ」と言われていましたので、私自身もそのつもりで頑張っていたのですが、勤続4年半が経過した頃、父から急に「そろそろ戻ってこい」と言われました。

私自身は、いつかは地元に戻り会社を継ぐつもりでいましたので、戻れと言われれば、戻るしかありませんよね。

結局、27歳の時に山口に戻ってきて、山口県貨物倉庫株式会社に入社しました。当時は父が社長で、私に「課長」のポジションを準備していました。私自身は、戻っていきなり課長なんて考えられないと断ったのですが、社長が引かず、課長として勤務することに

なりました。しかし、課長とはいえ、当時はなんでもやりましたよ。帰山してから大型免許も取り、配送の仕事もしました。リフトを運転して倉庫管理の仕事もしていました。

### 山口県貨物倉庫株式会社について教えてください。



山口県貨物倉庫株式の配送車

昭和38年に、私の祖父が宇部で森藤運送店を創業し、私で三代目になります。昭和46年に法人化し、昭和60年山口県貨物倉庫株式に組織変更し、本社を現在地に移しました。現在は、本社、関東支店と、宇部営業所、徳山営業所があります。

本社には80台以上のトラックがあり、日々県内外への配送業務を行っています。

配送と同時に、倉庫業も行っており、倉庫の中は70%が食品です。食品は、スーパーマーケットやドラッグストアへ配送する、ドライ・チルド・フローズンの三温体制で、倉庫もその三温が保管できるようになっています。食品ですので、やはり安全性の部分には気を遣います。保管も配送も、温度管理は徹底します。

食品以外の部分では、ベアリングや農業なども倉庫内で管理しています。

### 山口テクノ第二団地に新たに倉庫を建設されるそうですね。

既に倉庫の建設が始まっています。以前から、もう少し倉庫を増やしたいと思っていました。冷凍の物流倉庫が足りない状況になったのもきっかけですが、「現状維持を目指すようではダメだ!」という私自身の意識もあります。私も父から会社を継ぎましたが、このまま行くと、私の息子が会社を継ぐことになるでしょう。その時に、私は現状維持で会社を渡すのではなく、私自身の代で少しでも何かを成してから、会社を譲りたいと考えました。



テクノ団地進出に係る調印式での様子

### 社長ご自身は、小さい頃から会社を継がれる気持ちは持っておられたのですか？

父が会社を経営していることを知っていましたし、私には兄弟が姉しかいないので、いつかは自分が継がなければならないだろうと、何となく感じていました。両親から「継いでくれ」という話をされたことは、特に無かったと思います。何より、昔の私は野球に夢中で、進学して経営学を勉強するとか、そういう意識は全くありませんでした。

高校時代、甲子園に出場した際、選手1人1人の顔写真が掲載される雑誌で、将来の夢を聞かれたのですが、その時、わざと「実家の会社を継ぐ」と答えました。自分自身、それほど意識して発言したわけではな

く、「野球選手になる」と言うのもおこがましいと思って言っただけだったのですが、それを見た父が、涙を流して喜んでいたら、後々母から聞かされました。父は、私が会社に戻って6年目に癌で亡くなりました。急なことでしたし、私が会社を継いだ姿を見ることはありませんでした。

当時の雑誌の記事を見て涙を流した父を、バカだなとも思いましたが、やはりそれほど嬉しかったのかと、今なら分かります。

### 昨年10月、障害者雇用優良事業所として県知事表彰を受けられましたね。

現在、11人の方が弊社で働いています。「社会に貢献する」という会社理念を掲げていますが、社会貢献を強く意識して、障害者の方を雇用している訳ではありません。倉庫内の業務には、障害者の方が活躍できる業務があります。その業務を障害者の方々に任せて、困難な部分は社員同士で助け合ってすすめることにしています。障害者の方も、自立して社会に貢献できる存在だと思いますし、弊社ができるバックアップは、可能な限りしていきたいと思っています。



昨年10月に受けた障害者雇用に関する表彰状

支援学校からの研修生も受け入れていますが。研修は2週間から1ヶ月間程度で、弊社で研修をした生徒が、卒業後に就職することもあります。

### 人材育成にも力を注がれていると伺いましたが。

弊社では、大型自動車運転免許の取得や、リフトの運転免許の取得を希望する社員には、会社が経費を負担して取得するようにしています。

実は、人員を増やしたいと求人募集を出すのですが、なかなか目標の人数まで集まりません。倉庫を増やすこともあり、人材の確保が急務です。大型の免許がなくても、弊社に入って経験を積んでから取得すれば



本社倉庫。取材に伺った日も、自社トラックが絶えず出入りしていました

良いと思っていますので、今は配送スタッフを確保したいと思っています。

### 山口市に対する思いをお聞かせください。

やはり定住人口が増えて欲しいと思います。弊社の事業も、人口が減っては物流も増えません。もちろん、観光客の増加も山口県全体にとっての活性化に繋がりますが、それよりは、山口市や山口県の定住人口が増えることが、地域を活性化する一番の近道だと思います。増やすことは難しいかもしれませんが、せめて減少を食い止める方法を考えていきたいと思います。

### 現在取り組まれていることや、今後の目標を教えてください。

現在、事故防止への取組を行っています。トラックを100台以上抱えていれば、年間数回の事故が発生します。ですが、それを少しでも減らすため、6年前から全車にドライブレコーダーを搭載しています。また、運転手同士でグループをつくり、ミーティングを行い、お互い事故防止への意識を高め合う努力をしています。それと、我々管理者が、口で「注意しろ」と言うだけでは意識の向上につながりませんので、交通安全週間には、私自身を含めた役員や管理者全員が会社入口に立って、交通安全への啓発を行うようにしています。

また、現在、中国人研修生を年間30名程度受け入れています。3年間の研修を終えて、中国でも同様の業種で活躍してくれると嬉しいですね。研修生も活躍してくれてはいますが、やはり正社員を雇用し人材を確保することで、これからもよりよいサービスをみなさまに提供できるよう、努力していきたいと思っています。

山口県を中心とした日配業務が主力ですが、一般貨物の貸切輸送も全国展開しております。全国から山口へ、山口から全国へ。常温品はもちろん、チルド品・冷凍品、食品以外の配送も是非ご用命ください。